

第1回 2月 センター試験本番レベル模試

春がやってくる前に 基礎固めをしっかりと！

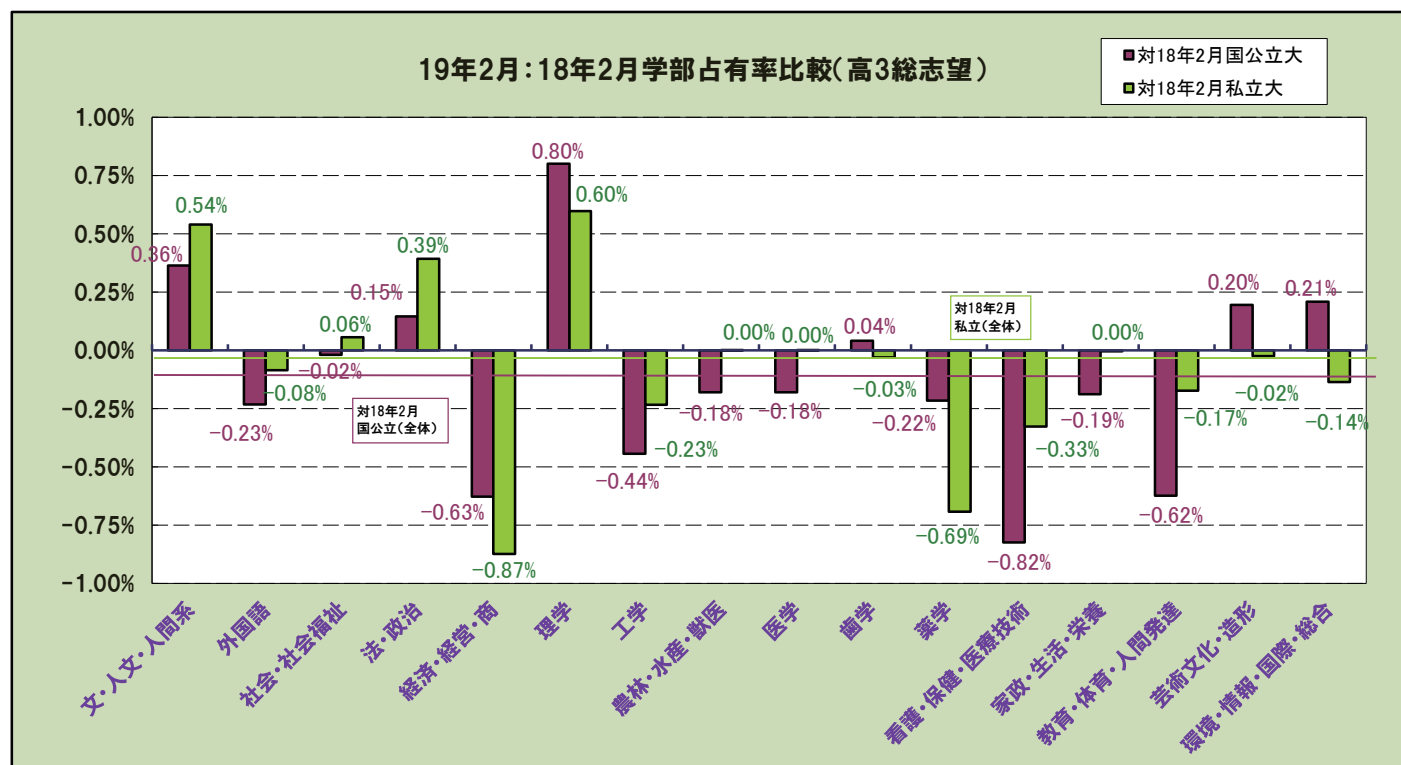
2月24日（日）に実施した「第1回 2月 センター試験本番レベル模試」の新高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験し、間もなく大学入試を終えようとしている現高3生の志望動向と比較した。

もうすぐ受験シーズンを終えようとしている先輩たちは昨年のこの時期、大学で何を学ぶことを目指してスタートを切ったのだろうか。

最後の大学入試センター試験を受験する新高3生。

1年後に向けて。まずは基礎学力の定着を図るようにしよう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	106	104	105
外国語	86	96	92
社会・社会福祉	99	101	101
法・政治	102	104	104
経済・経営・商	94	96	95
理学	110	113	111
工学	106	106	106
農林・水産・獣医	92	90	91
医学	98	100	98
歯学	106	91	101
薬学	95	84	89
看護・保健・医療技術	89	93	91
家政・生活・栄養	81	100	93
教育・体育・人間発達	92	97	94
芸術文化・造形	138	98	110
環境・情報・国際・総合	104	98	100

■国公立大

2019年度入試で見られた経済・経営・商学系の人気の収束感と、看護・保健・医療技術系の人気の下降、教育・体育・人間発達系の不人気傾向の継続が目立つ。

一方で、理学系、工学系の人気の低迷は下げ止まったのか、回復傾向を見せている。

■私立大

芸術文化・造形系、環境・情報・国際・総合系以外は、ほぼ国公立大学と同様の傾向。

経済・経営・商学系の志望者減少により、文系では文・人文・人間系、法・政治系の志望者が増加傾向にある。

理系では、農林・水産・獣医系、薬学、看護・保健・医療技術系の志望者が引き続き減少傾向にある。

※このデータは、2019年と2018年の「第1回 2月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。